



出張報告書

令和 5年 6月 26日

尼崎市議会議長 様

会派名 蒼風会
代表者氏名 林 久博
出張者氏名 林 久博、丸岡 鉄也
津田加寿男、鷺田 真緒

このたび、出張しましたので、次のとおり報告します。

1 出張期間 令和5年5月22日から令和5年5月23日まで

2 結果の概要

Table with 2 columns: 用務先, 報告事項. Rows include 富山市公設卸売市場, 金沢市, 石川県立図書館. Includes checkboxes for 添付書類 and 備考.

3 届出事項の変更等 [x] なし [ ] あり (内容は裏面に記載)

旅費の精算

Form with checkboxes for 精算額は、令和5年5月1日届け出た額 (129,840円) と同一額である。 and 届出事項の変更等により、別途精算する。(精算額は裏面に記載)

(裏面)

届出事項の変更等の内容

変更等の事項と理由

支 出 額	
精 算 額	
支出 差引 額 戻入	

変更前と後の日程

	月	日	日	日	日	日	日
前 発着地							
後							
前 経 路							
後							
前 用務先							
後							
前 宿泊先							
後							

2023年6月26日

視察報告書

今回、尼崎市議会、会派蒼風会は5月22日から23日の2日間、富山県富山市と石川県金沢市に会派視察に臨みました。下記報告事項とさせていただきます。

日時 2023年5月22日

視察先 富山市公設卸売市場

説明者 富山市公設卸売市場 水野 智次長、富山市農林水産部地方卸売市場

主幹、主幹

出張者 林 久博、丸岡 鉄也、津田加寿男、鷺田 真緒

報告者 鷺田 真緒

視察内容 富山市公設地方卸売市場再整備事業

今回の視察では、本市にもある公設卸売市場の在り方や建て替えが検討されている中で、松本市長は市場の在り方に関してサウンディング調査を広く実施するとの意向を示したことを受け、会派として『老朽化の著しい卸売市場のコンパクト化+余剰地への民間収益施設の誘致』という点を特に参考とするため調査を行いました。

全国初のPPP手法（公民連携）ということで参考になる部分もある反面、入札時に1社のみが手を挙げ、そして決まったということで、なぜこの民間の会社と連携をしたかという決め手には強みを感じられないことも現地へ赴き直接聞いた結果判明しました。

本市としてまず、市場の在り方に関しまして、現在の市場特命担当課だけではなく、もっと視点や視野を広くし、本市の市民にとって有益になることを考える場を設けることが必要ではないかと調査後により感じるようになりました。本市と富山市の公設卸売市場の規模、また生活背景は異なりますが、市民のライフラインをどうするか、大阪と神戸の間に位置する市場として在り方に関してまずは方向性を決め、土地の有効活用の検討にまずは努めてまいります。

日時 2023年5月23日

視察先 金沢市教育プラザ&石川県立図書館

説明者 学校教育センター 熊谷 有紀 所長、所長補佐、教育相談係長、石川県立図書館 伊藤 信一副 館長

視察内容 金沢市教育プラザの取組について&石川県立図書館の建て替え後の実態について

今回の視察では、乳幼児から児童生徒までの一貫した相談支援を行っている金沢市の取組に関して調査してまいりました。教育プラザは、教育委員会とこども未来局から構成され、その配下に4つの軸となる機関がおかれています。平成15年に教育と福祉が連携し、こどもの健全育成を支援する拠点施設としての教育プラザが開設されました。南部地域に教育プラザ富樫、金沢駅周辺に教育プラザ此花の2か所あり、市内を網羅するようになっています。

取組内容で特に参考となったのは、一貫した相談支援の①電話相談②保育園・統合巡回③幼児相談室④専門相談・巡回専門相談⑤児童相談所との連携強化を図っているところです。先述に加えて、面談相談、適応指導教室「そだち」などの取組もあり、各部署への配置の人数も多く基準以上の人員を配置することの手厚さを感じました。

本市の財政状況も以前とは異なり収支均衡が保たれたいま、今後の本市の未来を担う子供たち、児童生徒の健全育成のためにも本市の強みである「いくしあ」を幅広く市民の方々に活用してもらうよう、また人員や体制強化に努めなければならないと感じました。

また、県立図書館の建て替えに関しては、金沢市本多町にあった旧図書館は昭和41年に開館。建設から半世紀を超えて老朽化が進み、耐震基準を満たしていないとの診断を受け石川県の長期構想で旧金沢大学工学部跡地に移転・建て替えが行われました。

基本構想の要点が「県民の多様な文化活動・文化交流の場として、県民に開かれた『文化立県・石川』の新たな知の殿堂」とあります。本市も文化ビジョンを新たに策定したことも受け、本市の取組に加えてさらに、兵庫県と連携し、県民の多様な文化活動や文化交流の場を促進し、より市民の方々が文化的な生活をおくれるよう取組を努めてまいります。